

企画提案書記載項目

企画提案書の作成にあたって、以下に示す各章・項の構成に則って作成すること。

【注意事項】

- ・提案項目における全ての項目は必須として記入すべきものであり、これらの項目において記入がないなどの場合は、その項目は0点になるため記入には十分留意すること。
- ・説明は文章をもって行い、図等はその補助として用いること。図のみの説明は認めない。
- ・記載された内容は、評価基準に基づき評価を行うこととする。

章	項	提案項目	提案内容
1章	全体像		提案するシステムの全体像について、イメージ図等を用い具体的かつ明瞭に記述すること。
	1.1	本業務の目的と成功のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務の目的を明確に理解し、当市の目的の実現及び課題解決に向けた提案を行うこと。 ・本業務の成功における重点ポイントを十分に把握し、適切な対応策を提案すること。
	1.2	提案者企業情報	<ul style="list-style-type: none"> ・過去5年間における受託実績等を明確に示すこと。（令和6年度以降に稼働予定のものを含む。） ・再委託等複数企業体での提案の場合、企業構成・役割分担等を明確に示すこと。
2章	プロジェクト管理		プロジェクト管理の考え方、具体的な手法を示し、長期のプロジェクト運営に耐えられる提案を行うこと。
	2.1	プロジェクト管理基本方針	・長期的視点も踏まえ、本業務のプロジェクト管理全体の基本方針を明確に示すこと。
	2.2	プロジェクト管理手法	・プロジェクト管理を行うための体制、役割分担、会議体、コミュニケーション、品質管理、課題管理等の統一管理できる手法を具体的に示すこと。
	2.3	プロジェクト実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務の実施体制を、実績（経歴）、資格、現場責任者及び担当者等を明確に示すこと。（再委託事業者がある場合はそれぞれの企業に関しても同様とする。） ・本業務の実施体制を、構築工程・保守運用工程に区分し、役割、実施場所等を明確に示すこと。（運用・保守工程の体制に関しては、運用・保守、ヘルプデスク（又は問合せ窓口の一本化）などの実施体制及び業務内容等が明確にされていること。）
	2.4	プロジェクト実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務の工程を詳細且つ具体的に示すこと。また、それに紐づくプロジェクト作業の実施内容も明確に示すこと。 ・本事業の全体スケジュール（契約締結から業務完了まで）の詳細を具体的に示すこと。 ・当市職員の負担軽減となる方策等を具体的に示すこと。
3章	業務システム（パッケージシステム）		提案システム（パッケージシステム）に関する事業者としての方針、品質維持と向上に関する考え方を明確に示し、当市にとって有効な提案を行うこと。
	3.1	システムの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・標準機能の特徴及びデジタル化移行により災害対応等で実現可能となる事項を明確に示すこと。 ・本システム活用により災害対応業務の効率化や対応職員の負担軽減となる事項について提案すること。 ・長期使用においても、安定提供されるパッケージシステムであることを具体的に提案すること。
	3.2	システムの価格体系	・ライセンス体系、価格体系の詳細を示すこと。
	3.3	システムの適用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・提案するパッケージシステムの適用方針について、具体的に示すこと。 ・提案パッケージを活用したシステム全体の最適化に向けた方策を示すこと。 ・他自治体等の最新事例や効率的な活用方法等、当市にとって有益な提案を行うこと。
	3.4	システムのバージョンアップ及びカスタマイズ対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・標準機能及びハード・ソフトウェア等のバージョンアップに関する基本方針、対象時期、方法等について具体的に示すこと。 ・カスタマイズ等における基本方針や方法等について具体的に示すこと。
	3.5	多様性・拡張性	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応時以外でのシステムの活用方法、他自治体等の活用事例について、具体的に示すこと。 ・将来の環境の変化や他システムとの連携などにも柔軟に対応できる拡張性の高いシステム、サービスを提案すること。
4章	システム構築全般		システム構築全般に対する構築方針を明確に示し、当市にとって有効な提案を行うこと。
	4.1	コンサルテーション業務	<ul style="list-style-type: none"> ・システム及びサービス導入における有益な提案、助言及び運用見直し（BPR）等に係る具体的な提案を行うこと。 ・安定稼働や運用ルールなど、具体的内容について提案すること。
	4.2	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・情報資産の取り扱いについて、セキュリティインシデントが発生しない対策を示すこと。また、発生した場合の初期対応策等についても提案すること。 ・継続的なセキュリティ向上に関する取組みや考え方について示すこと。
5章	構築工程		調達システム構築における基本方針やコンセプトを明確に示し、当市にとって有効な提案を行うこと。

章	項	提案項目	提案内容
5章	5.1	構築工程全体の方針と体制	<ul style="list-style-type: none"> 構築におけるシステム全体の基本方針やコンセプトを具体的に示すこと。 特に重要となるポイントや構築体制等について、提案すること。
	5.2	要件定義の方針	<ul style="list-style-type: none"> 業務主管課、施設管理主管課、情報主管課、事業者の役割を具体的に示すこと。 職員の負担軽減に関する提案を示すこと。 要件定義に対する考え方や具体的な手法、進め方を示すこと。
	5.3	カスタマイズ手法	<ul style="list-style-type: none"> 当市が要求する機能にカスタマイズが発生した場合の具体的な内容、手法、承認方法等を明確に示すこと。
	5.4	成果物	<ul style="list-style-type: none"> 構築工程における成果物の内容を具体的に示すこと。
6章	運用・保守工程		調達システムの運用・保守における基本方針やコンセプト、また運用、保守、業務支援の範囲を明確に示し、当市にとって有効な提案を行うこと。
6章	6.1	運用・保守工程全体の方針	<ul style="list-style-type: none"> システム初期稼働時のサポート体制についての明確に示すこと。 本業務の運用・保守において、高い品質を確保するため具体的方策やポイントについて提案を行うこと。また、それにおける業務体制について、具体的に示すこと。
	6.2	障害対応の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 障害対応の基本方針を示すとともに、職員の負担軽減等に繋がる有効な提案を具体的に示すこと。 障害対応体制の役割分担（問合せ窓口等）、方法、想定時間（対応、復旧等）などについて、障害対応フローを明確に示すこと。
	6.3	継続改善提言	<ul style="list-style-type: none"> 本パッケージシステムの機能向上例や有効な改善提言について具体的に示すこと。 バージョンアップによる機能向上例や有効な改善提言についてを具体的に示すこと。
7章	研修及び訓練工程		職員研修及び訓練支援の内容とそれらを効果的に行うための具体的な手法を示し、当市にとって有効な提案を行うこと。
7章	7.1	研修に対する考え方	<ul style="list-style-type: none"> 研修実施に関する基本体制を具体的に示すこと。 研修計画書、マニュアル等、必要なドキュメントの整備についての考え方を明確に示すこと。
	7.2	職員研修の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修の実施スケジュール、実施方法、研修内容、研修対象者、人数、時期及び回数等を明確に示すこと。 職員研修実施にあたっての役割分担（研修説明、システム説明、操作説明、補助等）を明確に示すこと。 研修準備、実施、撤収までの一連作業における職員負担軽減策やサポート内容について提案すること。
	7.3	訓練支援の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年11月10日実施予定のふじみ野市総合防災訓練のシナリオ作成業務やシステムを活用した訓練当日の操作支援等について、具体的支援内容、事前調整内容、時期、回数及び役割分担等を明確に示すこと。 職員負担軽減策やサポート内容について提案すること。
8章	終了工程		業務終了時の考え方、作業内容、計画を役割とともに示し、当市にとって有効な提案を行うこと。
8章	8.1	終了工程の方針	<ul style="list-style-type: none"> システム運用終了時の具体的な作業内容、費用等について示すこと。
	8.2	6年目以降の利用	<ul style="list-style-type: none"> 本提案システムを6年目以降も利用した場合の価格体系、運用、保守等の詳細について示すこと。 運用コスト削減策等について提案すること。
9章	SLA		サービスレベル基準に対する考え方が適切で、具体的なSLA項目（詳細実現手順）の案を示し、当市にとって有効な提案を行うこと。
9.1	サービスレベル基準に対する考え方		<ul style="list-style-type: none"> 運用時のサービスレベル基準に関する考え方を示すこと。 SLA項目案（詳細の実現手順等）を示すこと。
9.2	SLA遵守状況の報告と評価		<ul style="list-style-type: none"> SLA遵守状況の確認方法、報告内容、評価方法の考え方やその手段について示すこと。
10章	オプション提案		仕様書記載事項以外において、実施内容、実現時期及び価格が具体的であり、当市にとって有効な提案を行うこと。
10.1	オプション提案		<ul style="list-style-type: none"> 本調達システムのほか、市職員が災害対応業務を行うにあたり、本市が抱える課題解決に有用なオプションシステム及びサービスがあれば、その特徴、試行期間、効果、費用等を含め具体的に提案すること。これにより対応職員の負担軽減となる事項についても具体的に示すこと。
10.2	オプション価格		<ul style="list-style-type: none"> 本調達システム構築費とオプション提案追加費用（令和6年度に必要となるすべての費用）の合計が提案限度額の範囲内に納まっており、別途任意様式で見積書及び内訳書を提出していること。 （※本調達システムとは別契約又は変更契約での調達を想定しているため、本調達システム構築費にオプション費用は含めないよう注意すること。）